

PRESS RELEASE

子どもたちが“空中図鑑”を体験。鹿児島市立科学館に未来コンピューター登場。

空中に浮かぶ映像に触れる—— 200年後の火星基地を想定した次世代インターフェースを公開

インターマン株式会社（本社：鹿児島市、代表取締役社長：上田平 重樹^{うえた びら}）は、鹿児島市立科学館のリニューアルに合わせ、空中に映像を映し出し、触れて操作できる「空中図鑑」および未来型コンピューター展示を、2026年3月27日より一般公開しました。

本展示では、子どもたちが実際に空中に浮かぶ映像に触れ、操作する体験が可能となっており、触れながら楽しく学ぶ場を提供します。

■子どもたちが“未来の操作体験”

子どもたちは、空中に浮かび上がる図鑑映像に手を伸ばし、直感的に操作することができます。空中で操作できるため、より自由で直感的な体験を実現しています。

■「空中図鑑®」とは

「空中図鑑」は、立体的に浮かび上がる映像に手で触れて、操作できる新しい展示システムです。

- ・空中に映像が出現
- ・手の動きで映像を操作
- ・拡大、回転させ全体の観察が可能

子どもたちはまるで“未来の図鑑”を扱うような感覚で、楽しく学ぶことができます。

■火星基地を想定した未来のコンピューター

本展示は、約200年後の火星基地で使用されることを想定した「未来コンピューター」のコンセプトをもとに設計しています。重力環境や限られた空中でも効率よく情報操作を行うため、空中インターフェースという新しい形を提示しています。

■科学館リニューアルへの協力

本展示は、鹿児島市立科学館リニューアルの企業展示コンテンツの一つとして導入され、最新技術と科学教育を融合させた展示となっています。

■来場者の反応

リニューアル初日には、子どもから大人まで多くの方にご体験いただきました。空中に浮かぶ映像に触れて操作できる体験に、来場者からは驚きの反応が多く見られました。

子どもたちは、どのコンテンツを見ようか楽しそうに選び、惑星や昆虫、植物を拡大したり回転させたりしながら、夢中になって観察していました。保護者からも、細部まで詳しく見られる図鑑としての面白さに、好意的な反応が寄せられました。



空中コンピューター体験



本件お問い合わせ先



インターマン株式会社

本社：鹿児島市武1-2-10 JR鹿児島中央ビル 5階
東京ショールーム：東京都港区芝大門1-10-18 PMO 芝大門3階
(体験希望は、ホームページの「Contact」からお問い合わせください)

インターマン株式会社 広報

本社：鹿児島市武1-2-10 JR鹿児島中央ビル 5階
TEL 099-206-6878